審議会等の名称	令和2年度第1回西脇市文化財保護審議会
開催日時	令和2年7月13日(月) 午後2時~3時10分
開催場所	播磨内陸生活文化総合センター ミーティングルーム
出席委員の氏名又は	佐野允彦、瀧原 務、足立裕司、大平 茂、芝本 満
人数(敬称略)	埴岡真弓
欠席委員の氏名又は	_
人数(敬称略)	
出席職員の職・氏名又	教育長 笹倉邦好
は人数	生涯学習課長 高瀬 崇
	生活文化総合センター館長 大隅誠一
	生活文化総合センター主任 菅澤敏弘
	会計年度任用職員 平宮可奈子
公開・非公開の別	公開
傍聴者	なし
協議又は協議事項	1 令和2年度文化財関係事業の予定及び進捗状況につい
	て
	2 文化財保存活用地域計画の作成について
	3 その他

会議の記録(概要)				
発言者	内容			
事務局	1 開 会			
会長	2 会長あいさつ			
教育長	3 教育長あいさつ			
事務局	4 報告及び意見交換 (1) 令和2年度文化財関係事業の予定及び進捗状況について 資料「協議報告事項資料」より、文化財保護事業及び郷土資料 館事業について説明。			
会 長	西脇小学校現地視察において、文化庁の方の評価はどうだったか。			
事務局	これだけの大規模な木造校舎が、今回修理工事を終えて、今後も小学校として当初の目的で使われているのは全国的に見ても稀有な例だと、非常に評価していただいた。			

委 員

今年はコロナで秋祭りなどを中止されているところがあるが、調査できているのか。

事務局

秋祭りをすべて把握できていない。

(予定が分かり次第、審議会委員に通知することとする。)

委員

西脇小学校が開校したときに、前身校を引き継ぎながらできたとい うのは大事なところなので校名変更・移転の位置の変遷などをきちん と整理して欲しい。

委員

古窯陶芸館の経費と体制をお聞きしたい。

事務局

管理運営費の本年度当初予算額は総額 127 万 1000 円、現在「緑風窯 古窯陶芸倶楽部」に管理を委託している。

委員

施設内のカビの状態は良くはならないか。

事務局

いろいろと試しているが、有効な手立てが見つかっていない。

(カビの対策についての意見交換)

委 員

市内の指定無形民俗文化財はどのように継承されているか。将来的 に維持が困難なところが増えてくると思われるので、今のうちに動画 での記録保存をしておいた方がよい。

委員

道具や材料、練習など継承のし方も調査しておいた方が良い

委 員

調査をすることで、やっている方々の意識も変わる。価値を伝える ことが大事。

(2) 文化財保存活用地域計画の作成について

事務局

資料「協議報告事項資料」より、文化財保存活用地域計画の作成について、文化財保存活用地域計画の内容、計画期間、悉皆調査が必要なものについて説明。

委員

地区毎に、また分野別にどういうものがあるのかをまとめるだけでも大変。いい方法をこれから検討していかなければならないと思う。

委員 未指定を含むと悉皆調査には大変な作業がいる。書籍など周知の遺 産から拾い上げていくというのはよい考えだと思う。

(調査方法についての意見交換)

事務局 本格的な悉皆調査については、計画の中で年次計画を立てて実施すれば良いのとの認識です。

委員 周知のものだけで計画を作成していくだけでも相当な量になると思 われる。

委員 その地域で文化財というものがどれだけ、どんな風に分布しているかを把握していることが、例えば災害などが発生したときに大事になってくる。

委員 民家や近代化遺産などは、なかなか周知されていない。

事務局 先ずは、リスト化から取り掛かっていきます。

委員 自治会へのアンケートはその後からでよい。

委員 年中行事の調査には自治会へのアンケートが有効。この機会に一律 に調査してはどうか。

(アンケート調査方法について意見交換)

会 長 アンケートや聞き取りをしても、当事者(地元の人や所有者)が、 文化財だと意識していないことが少なくない。文化財に対する市民の 理解度を底上げするのが大事。

委 員 (市民の中には)いろんな分野で活動されている方がいる。

事務局 そういった情報を活用していきたい。

会 長 計画作成の資料を見るだけでも、とても今の体制ではできないと思う。専従を配置するなど、万全の人事体制で行っていただきたい。

(3) その他

		(黒田庄町前坂、大歳神社の窯跡の保存について)		
事務局	5	閉	会	